

2023年度 中国語学科 夏期海外研修レポート

提出者：和田 絵理奈

所属：中国語学科 3年次

3週間のみの海外研修でしたが、学力面、文化面共に多くのことを学べたと感じました。「百聞は一見に如かず」という言葉のように、実際に見て触れることは有意義な時間であったと感じました。

研修期間には、北京外国語大学での授業のみにならず、頤和園や故宮などの文化遺産の観光やキューピー、イオンのような有名日系企業でのインターンシップへの参加を計画して頂きました。講義に通訳担当の中国人学生が参加して下さったことにより、実際に会話で用いる中国語会話を学べたことが現地で講義を受けた意味になると考えます。

講義では週末の出来事や日本と中国の差などを中国語で話す機会が多く、語学力向上の面においてそのような機会を設けて頂いたことに感謝します。講師の方々には日本文化へ非常に興味を持っており、文化交流が行え、特に中国語力を向上できた点として、やはり店や駅などで実際に中国語を用いて自力で会話したことが大きいと感じます。

卒業後は日本と外国を繋ぐ物流や貿易職などにおいて貢献したいと考えており、インターンシップでは海外進出日系企業において物流ルートが重要になることを学び、就職活動への意識をさらに高める事が出来ました。